

# 令和3年度 事業報告

## 1. 概況

現在、我が国では、人口が減少するとともに少子高齢化が進み、総人口（令和3年9月）に対する65歳以上の人口が占める割合は29.1%となっており、前年（28.8%）に比べ0.3ポイント上昇し、過去最高となりました。

こうした状況の中で、高年齢者の就労意欲は高く、内閣府が実施した「高齢者の経済生活に関する調査（令和元年度）」によると、働いている60歳以上の人の9割近くが、70歳以上まで働きたいと考えています。

今後、労働力人口の減少が懸念される中、働く意欲のある高年齢者がその知識や経験を活かし、活躍し続ける「生涯現役社会」を実現するには、働きたいと願う高齢者が働き続けられる環境づくりが重要であり、その受け皿であるシルバー人材センターに対する地域社会の期待は一層大きなものになっております。

当センターは昭和57年、県下7番目のセンターとして設立し、公益社団法人へ移行して10年が経過する現在、センターを取り巻く環境は大きく変化しており、公益法人としての組織運営、適正就業の推進、派遣事業の拡大、会員数の伸び悩みなど、課題が山積しています。

令和3年度は、令和2年度に策定した「市原市シルバー人材センター中期計画」に基づき、会員及び職員が一丸となって「会員の拡大」や「就業機会の確保」、「安全・適正就業の推進」などに、積極的に取り組みました。

その結果、契約額が、公共事業や企業・事業所からの新規受注が増加したことなどから、請負・委任事業は、306,791千円と前年比22,911千円の増となり、当センター始まって以来初めて3億円を突破しました。また、派遣事業についても、16,937千円と前年比4,347千円の増となりました。

しかしながら、会員数は547人と、新型コロナウイルス感染症の影響などもあって、前年度比4人増と横ばい状況が続いています。

その他、令和3年度は、会員の皆様が就業を通して、生きがいの充実や健康維持、地域の活性化等に寄与するために、就業において守るべきルールやポイント等を手引きとしてまとめた「就業共通マニュアル」、及び就業における事故を未然に防止するために、守るべき安全就業のポイントやルール等をまとめた「安全就業基準」を会員と事務局が一体となって策定し、全会員に送付することができました。

令和3年度は、長期にわたる新型コロナウイルス感染症等の影響を受け、センター運営は大変厳しい状況にありましたが、市原市をはじめとする行政機関、企業、事業所、そして一般の皆様からの大きな支援をいただきながら、会員の皆様のご尽力により、センター事業の推進と地域社会への貢献につながる事業展開が図れたものと確信しております。

以下、具体的な事業の実施状況についてご報告いたします。

## 2. 事業実施状況

### (1) はつらつと共に働く仲間づくり（会員の確保・拡大）

令和3年度は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響もあり、新規会員の拡大は大変厳しい状況にありましたが、会員及び職員が一体となって、様々な取組みを展開したところ、会員数は547人と昨年度と比べ4人増加することができました。しかしながら、女性会員については、97人と昨年度と比べ3人減少しました。また、当センターの粗入会率（60歳以上人口に対する会員数）は0.6%と千葉県全体及び近隣自治体と比べても低い状況にあります。

#### ① 会員の拡大

- 入会案内のチラシ等を公共施設や商業施設などに配置するとともに、職群班は7月、11月、2月に合計4,500部、就業開拓専門員は、7月から11月にかけて1,200部を戸別にポスティングしました。
- 「シルバー人材センター普及啓発月間（10月）」に、センター駐車場において会員による「刃物研ぎ」の実演と併せ、入会相談コーナーを設置し、会員入会と受注促進を働きかけました。
- 入会説明会において、当日入会されなかった方々に対して、アンケート及び個別ヒアリングを行い、入会促進に取り組みました。
- ホームページを適宜更新し最新の情報発信に努めるとともに、「市役所総合インフォメーション」に新たに広告を掲示し、センターのPRに取り組みました。

#### ② 退会者の縮減

- 会員が希望する仕事に就けるよう、様々な業種の企業や事業所等に対し、就業開拓専門員が積極的に営業活動を展開し、新規契約につなげました。
- 会員からの相談を随時受けられる体制を整えるとともに、「会報 シルバーいちばら」に「営業だより」のページを新設し、就業に係る情報の発信の強化を図りました。
- 長期末就業会員に対しては、就業開拓専門員が現状確認や就業の希望等を伺うなどのフォローアップに努め、就業促進につなげました。
- 新規会員のスキルアップや後継者の育成を推進するため、講習会や研修会を実施しました。（講習会等の内容：3-（3）就業スキル向上の推進で記載）

#### ③ 女性会員の拡大

- 「女性部会」を11月に開催し、女性会員及び就業の拡大について意見交換するとともに、12月には手芸講習会（クラフトバンドによるかごバックの作成）を実施し、女性会員相互の親睦と情報交換を図りました。
- 千シ連による「マスメディア広告キャンペーン」を活用し、「千葉テレビ（特別番組：11/6放送、ビジネススタイル：11/2放送）」及び「地域新聞：11/5号（広がる女性活躍の場）」で女性会員の活動や就業拡大の取組みを紹介しました。

#### ④ 仲間づくりや交流の場の創出

- ホームページに講習会や研修会の様子を適宜掲載するとともに「会報 シルバーいちはら（9月, 3月）」の内容を充実し、全会員に送付することで、情報の共有・見える化を図りました。
- 「会報 シルバーいちはら」で、センター施設を活用し、会員相互の親睦や交流につながる同好会や研修会等の活動呼びかけました。

#### (2) 笑顔がうれしい仕事づくり（就業機会の拡大・提供の推進）

令和3年度は、会員、職員が一丸となって様々な営業活動に取り組み、請負・委任業務については、受注件数は3,459件、契約金額は306,791千円で前年度比22,911千円の増となり、内訳は、公共事業49,406千円（16.1%）、民間事業257,385千円（83.9%）でした。また、派遣事業については、受注件数は20件、契約金額は16,937千円で前年度比4,347千円の増となりました。

##### ① 新規就業の開拓・提供

- 更なる就業拡大を図るため、就業開拓専門員が中心となり、市内各企業や事務所等に積極的に営業活動を展開し、38件の新規契約に結びました。また、ゴルフ場や駐輪場、大型スーパー等の欠員の補充について丁寧に対応しました。
- ポスターやリーフレット等を公共施設や大型商業施設などに配置するとともに、職群班（7月, 11月, 2月）及び就業開拓専門員（7月～11月）が戸別にポスティングを行い、新たな会員・顧客の拡大に取り組みました。

##### ② 地域貢献事業の推進

- 福祉・子育て・家事支援サービスに関する就業拡大を図るため、市原市社会福祉協議会と連携し「日常生活支援事業交流会」に参加してセンター事業のPRを行うとともに、保育施設や一般家庭等からの依頼に丁寧に対応することで、サービス群の契約額が前年度に比べ156%増加しました。
- 空き家や空き地の適正な管理に関する就業拡大を図るため、除草や植木剪定の受注と連動させ、家屋等の管理について営業することで受注拡大に取り組みました。
- センターが地域社会の一員として存在意義や価値が高まるよう、また、地域に親しまれ身近な場所となるよう、以下の地域貢献活動を実施しました。
  - ・令和3年7月16日  
襖班による、障子・網戸の張替え講習会（参加者：12名）
  - ・令和3年10月11日  
植木班会員による、植木の剪定ボランティア（市立五井小学校）
  - ・令和3年10月29日  
植木班会員による、刃物研ぎ（依頼数：29件83丁）
  - ・役職員及び会員有志によるペットボトルキャップの収集及び資源ごみの回収分別

### (3) 安全・健康、生きがいを感じる職場づくり

#### (安全・適正就業、就業スキルの向上)

令和3年度は、会員の安心・安全な就業環境づくりや事故を防止するため、様々な安全講習会等の開催や安全パトロールを実施するとともに、新たに委員会を設置し「安全就業基準」を策定しました。そのような中、事故発生件数は18件（前年度比5件増）と増加傾向にあり、その内訳としては、傷害事故が7件（前年度比6件増）、賠償事故が9件（前年度比増減0件）、交通事故が2件（前年度比1件減）でした。

#### ①安全・安心就業の徹底

- 令和3年8月、11月、及び令和4年2月に「安全・適正就業委員会」を開催し、事故発生状況の共有と再発防止等について意見交換を行いました。
- 会員が守るべき安全作業のポイントやルール等を定めた「安全・適正就業基準（総括・作業別）」を「策定委員会」が中心となって策定し、ホームページに掲載するとともに、全会員に送付し周知徹底に努めました。
- 安全就業及び事故防止の徹底を図るため、担当役員が中心となって就業先への特別安全パトロールを2回（10月、2月）、安全推進委員による安全パトロールを6回（隔月）実施しました。
- 毎年7月に全国展開される「安全・適正就業強化月間」に、安全意識の向上を図るため、桃太郎旗等を事務所前に掲示しました。
- 安全用具の着用励行を推進するため、ヘルメット（20個）、安全带（5個）、防護ネット（3個）を購入しました。
- 就業中の事故や途上における交通事故を防止するため、以下の講習会等を実施しました。
  - ・令和3年6月28日～30日  
チェーンソー安全講習会（講義・実技）参加者：6名
  - ・令和3年7月6日  
第1回草刈機安全講習会（講義・実技）参加者：13名
  - ・令和3年9月14日  
第2回草刈機安全講習会（千シ連主催）（講義・実技）参加者：10名
  - ・令和3年10月1日  
第1回交通安全講習会（高齢者の交通安全）参加者：11名
  - ・入会説明会における安全教育、及び「シルバー保険」の説明等の実施（毎月1回）

#### ②適正就業の徹底

- 「請負・委任」「派遣」の適正な就業及び契約を推進するため、新規契約については、受注時に就業内容を十分確認するとともに、既契約については、パトロールや営業活動を通して仕様書との適合を確認するよう努めました。

#### ③就業スキル向上の推進

- 就業に関する知識や技術、マナーなど、会員のスキルアップを促進するため、以下の講習会や研修会を実施しました。なお、開催にあたっては、新

型コロナウイルス感染症の拡大状況を踏まえ、適宜中止としたものもありました。

#### 【開催】

- ・令和3年10月11日  
植木剪定講習会（市立五井小学校）（講義・実技）参加者：7名
- ・令和3年12月7日  
接遇力向上講習会（講義）参加者：20名
- ・その他、安全に係る講習会等は「安心・安全就業の徹底を参照」

#### 【中止】

- ・令和4年2月17日・18日  
襖の張替え講習会（講義・実技）
  - ・令和4年3月2日  
第2回交通安全講習会（高齢者の交通安全）
  - ・令和4年3月上旬  
自動体外式除細動器（AED）講習会（実技）
  - ・令和4年3月下旬  
植木剪定講習会（市立養老小学校）（講義・実技）
- 就業にあたっての基本的な事項をまとめた「就業共通マニュアル」を「策定委員会」が中心となって策定し、ホームページに掲載するとともに、全会員に送付し周知徹底に努めました。
- 植木班及び除草班を希望する新規会員を拡大し継続して頂くため、新規会員育成の仕組み（フロー）を「班員就業マニュアル」に盛り込むなどの改定を行い、班員全員に送付することで周知徹底に努めました。

### （4）取組みを推進する体制づくり（運営体制の強化・充実）

令和3年度は、理事会、専門部会、専門委員会等での積極的な活動による自主的運営に取り組みました。中でも「就業共通マニュアル」「安全就業基準」の策定においては、新たに「策定委員会」を設置し、活発な意見交換により策定することが出来ました。また、財政運営の健全化においては、積極的に要望活動を展開するとともに、契約事務の効率化に取り組みました。

#### ①運営組織体制の強化

- 毎月開催する理事会をはじめ、専門部会や専門委員会での活発な活動により、自主的運営に取り組みました。特に令和3年度は、新たに「安全就業基準策定委員会」「就業共通マニュアル策定委員会」「中期計画推進委員会」を設置し、目的の達成に向け取り組みました。
- 令和3年7月、11月、及び令和4年2月に「職群班世話人会議」を開催し、情報の共有や意見交換等を行うとともに、様々な課題解決に向け、適宜部会等を開催することで、会員の就業環境の改善に取り組みました。
- 意識や知識の向上を図るため、全シ協が主催する「新任会長研修会」や「新任事務局長研修会」に参加するとともに、コロナ禍においても、千シ連が主催する各種講習会等に積極的に参加しました。

## ②財政運営の健全化

- 自主財源を確保するため、就業開拓専門員が中心となって積極的に営業活動を展開し、契約額が昨年度比で8.1%増加しました。また、賛助会員の継続・新規勧誘の推進にあたっては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から文書により支援を働きかけ、市原商工会議所をはじめ12件のご協力を得ることができました。
- 国や市原市からの補助金を確保するため、市原市長はじめ副市長、保健福祉部等へ積極的に要望活動を展開し、大変厳しい財政状況にあっても、令和4年度は令和3年度と同額の補助金を確保することができました。
- 納入期限までに料金が入金されていない顧客に対しては「未収金管理事務要領」に基づき、粘り強く債権回収に取り組みました。
- 事務の効率化を図るため、年間を通して仕事の依頼がある顧客に対しては、月契約を年間契約に切り替えて頂くよう働きかけ、契約額が増加している中でも、契約件数を前年度比で389件（10%）減少させることができました。

## ③行政や関係団体等との連携強化

- 全シ協や県シ連から随時情報収集が出来る関係を築くとともに、南房総地域グループ協議会においては、様々な課題等について意見交換するなど、センターの更なる発展に繋げました。
- 行政や市原市社会福祉協議会と福祉や子育て、生活援助サービス分野の就業拡大に向けて意見交換を行い、連携強化に取り組みました。

## (5) その他の取組み（センターの目的を達成するために必要な事業）

### ①新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症については、「まん延防止等重点措置」の適用要請がされるなど、依然として収束が見えない状況にあります。このため、最優先すべきは会員の安全と業務の継続であり、国や千葉県、市原市の動向に注視しつつ、通達やガイドライン等に徙いながら、会員への周知徹底や講習会等の中止など、感染拡大防止に努めてまいりました。今後も引き続き適宜・適切な感染症対策に取り組んでまいります。

### ②市原市シルバー人材センター中期計画の推進

令和3年度は、中期計画で定めた「目指すセンター像」を実現するため、4つの基本方針に基づき、会員及び事務局が一丸となって取り組みました。

また、令和4年2月4日に「第1回市原市シルバー人材センター中期計画推進委員会」を開催し、計画を着実に推進するための取組みを開始しました。今後はPDCAサイクルによる評価・改善等により計画を推進してまいります。